

づき、市民が主役となる「飛驒高山文化芸術祭」を継続します。

○平和の重要性をおして、命の尊さを認識する機会を充実します。

○食品ロスの削減、ゴミのリサイクル、不要品の社会循環など、無駄を生み出さない文化を構築します。

○動物愛護の正しい知識の普及と人とペットが共生するやさしい社会の実現に努めます。

○多様な文化遺産の利活用による地域活性化を進めます。

【安全・安心に暮らせる

災害に強い生活環境づくり

○市内の業界・企業の皆さんと協力して、災害に強い住宅や新技術の提案によるインフラストラクチャー（都市の基盤となる施設）整備、各種公共施設の整備を進めます。

○災害を防ぐため、河川や急傾斜地の改修整備を進めます。

○自然災害などの発生時に地域や避難所のリーダーとなる市民防災リーダーの育成に努めます。

○災害時の避難所においては、避難される方の快適性の向上に取り組みます。また、避難

弱者に対応するための機材の配置を進めます。さらに、ペトトとの避難などが可能な避難所を増やします。

○市役所と市民の皆さんが、双方向に災害情報などを共有できるシステムを強化します。

○未来を担う子どもたちが安心して学校に通えるように、通学路の安全点検と整備を継続的に進めます。

【自然との共生の推進】

○高山市の保有する森林資源や自然資源（太陽、水、温泉、雪、他）などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市の構築に努めます。

○国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。

○自然エネルギー産業や森林・自然資源を活用した新たな産業の育成を支援します。

○高山市の風土の特性である「高地」を活用した健康増進機会の充実、スポーツ能力の向上、農産品生産の振興などに努めます。



活力あるまちの実現に向けて

産業の活性化は高山市に活力を生み出すだけでなく、市民が暮らしていく上でも欠かせない要素となります。そのため、高山の特長（高山らしさ）を活かした揺るぎない産業の発展を目指すとともに、付加価値の高い商品を生み出す産業の育成に取り組みます。さらに、飛驒高山ブランドが国内外に市場を確保するとともに、市内で資金が循環し、雇用や消費を生み出す取り組みに力を注ぎます。

【商業・工業の振興】

○メイド・バイ飛驒高山認証制度を推進し、商品の付加価値を高めるとともに、新たな商品・製品を創出する試みを支援します。

○飛驒高山ブランドの大都市圏や海外への販路開拓を強化するとともに、どこにいても飛驒高山ブランド商品が購入できるeコマースの仕組みを構築します。

○市役所および関連機関が主体となって、飛驒高山ブランドをPRする展示会などを大都市圏で開催します。また、近年の活動でパイプ（連携、友好）を築いた海外の国・都市に関わる大使館などの協力も得ながら、海外へのPRも実施します。

○中心市街地の回遊性を構築し、多くの人々が訪れる商店街の形成に努めます。また、空き店舗、空き家などを活用したチャレンジショップなどの出店を支援します。

○産業連関表の分析結果（市外に流出している業務や資金がわかります）なども活用し、新たな地場産業の育成、市民所得の向上、的確な産業施策の立案などを進めます。

【観光産業の振興】

○支所地域の資源や魅力を活用し、高山駅周辺などの中心市街地と支所地域が結ばれた市内観光ネットワークの構築に

努めます。また、中部圏の広域観光ネットワークを拡充し、高山市が中部圏の広域観光拠点となるような機能整備に努めます。

○大自然への発着拠点である奥飛驒温泉郷エリアや伝統文化への発着拠点である高山駅を含む中心市街地エリアの観光拠点機能の強化を目指します。

○国際的な文化交流を推進し、飛驒高山の文化に理解と興味を持つ外国人観光客の誘致に努めます。

○飛驒山脈を活用した国際山岳観光の振興に努めます。また、温泉ガストロノミーツアーズやクアオルトウォーキングなどによる誘客に努めます。

○女性グループ、親子連れ、シニアグループなどを始めとした様々な国内外観光客層に、それぞれに適した活動プラン（体験プラン）の提供やおもてなしの充実を図り、個人観光客の増加に努めます。

○飛驒の家具を始めとした木工産業や農林畜産業と観光が融合した「産業観光」の振興を図ります。

【農林畜産業の振興】

○基幹産業の一つである農林畜